

# HFJ雑誌批評「YAHOO!JAPAN ニュース 音楽之友社」2008年1月1日

エンターテインメント

## ヘンデル・フェスティバル・ジャパン開催

1月1日5時12分配信 [音楽之友社](#)

12月8日に開催された「ロイヤル・ファミリーのための音楽」に続き、08年1月18日19時浜離宮朝日ホールでヘンデル・フェスティバル・ジャパン(以下HFJ)の公演が行われる。曲目は《水上の音楽》全曲と《戴冠式アンセム》全曲。(チケット等詳細は「コンサート・ガイド」参照)

演奏はイタリアから招聘されるエンリコ・オノフリ指揮で、HFJお馴染みのキャノンズ・コンサート室内管&合唱団。オノフリは、イル・ジャルディーノ・アルモニコのコンマスとして、またソロでもバロック・ヴァイオリンの名手として世界各地で演奏活動を行っているが、最近(は指揮者としても)昨年「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」で来日している。その時指揮していたポルトガルの若い古楽器オーケストラ、デイヴィーノ・ソスピーロ(神のため息の意)と、最近モーツァルトのCDを出したばかり。旬の演奏家とも言える。

コンサートのテーマは「英国王室とヘンデル」だが、英国王室と生涯密接な関係を保ちながら数々の名曲を生み出したヘンデルの、この日は壮大・華麗な音楽を聴いてもらおうという企画だ。

とくに《水上の音楽》は、新資料発見により、100年以上論争のあった楽章配列問題に決着がつき、今度の演奏はその新資料に基づく世界最初の演奏という貴重な機会となる。

ヘンデル没後250年となる2009年を見据えながら活動する、HFJの主宰者は三澤寿喜氏。著書『作曲家◎人と作品シリーズ/ヘンデル』(音楽之友社 税込み1470円)でも、最新の研究を駆使してヘンデルの世界を描いている。同公演やHFJの活動に興味のある方は事務局まで

最終更新:1月1日5時12分

音楽の友